

オーストラリア

Vol.1 家族のかたちも人それぞれ



今回はオーストラリアにワーキングホリデー制度を利用して留学されていた伊藤紀子さんにお話を伺いました。

年齢と住んでいたところを教えてください。

33歳です。オーストラリアのケアンズに住んでいました。

オーストラリアで生活してみて、どんなところがいいなと思いましたか？

時間の流れがゆったりしていて、自然が多いところですね。海がすぐ近くにあるんですよ。

日本と比べて『これは違うな』と思ったこと、驚いたことはありますか？

いい意味でも悪い意味でもアバウトなところですね。(笑)
何かミス犯しても詳細を追求することがなく結構あやふやなままだったり、ツアーガイドをしていた友人に、ホテルのダブルブッキングなども良くあると聞いたことがあります。
とにかくオーストラリアの人は、あまり細かいことを気にしないという印象があります。だから日本に比べてストレスを抱えている人が少なかったような気がしますね。



あとすごく細かい話だと、買い物した時の支払いについてなんですが、例えば日本だと、支払いが780円だった場合、あえて1,080円支払って300円のおつりをもらったりするんですが、それをオーストラリアですると端数の80円は受け取ってもらえないんですよ。どうやら日本とはレジでの計算方法が違うみたいで『こんなところに違いがあるんだなあ』と驚いた記憶があります。

それでは、オーストラリアにおける「家族」について教えてください。家族の中でのお母さんの存在はどんなものですか？

日本と同じく、家族の中心的存在です。

結婚・出産を期に家庭に入る女性が多いのですか？

いいえ、仕事は続けている人が多いです。日本よりお父さんが協力的なので両立できているのではないのでしょうか。

私のホームステイ先のお母さんは料理が苦手なため、お父さんがほとんど作っていました。

男性と女性について日本と違う文化はありましたか？

日本と違いレディーファーストの文化があるので、女性に全般的に優しいです。女性も自分の意見を積極的に発言しますし、日本に比べて女性の方が強い気がしますね。

その他、家族関係で日本と違うところはありませんでしたか？

家族関係はとても自由で、私のホームステイしていた家は、母親が再婚で連れ子が一人。

現在は、再婚した夫との間に子供が一人いて、たまに前の旦那さんが遊びに来てホームパーティーをしたり、連れ子が前夫の家で泊まりに行ったりしていました。

日本ではあまり考えられないことですよ。



レジでのやり取りや家族の関係まで、「自由」や「マイペース」という言葉がよく似合う国柄を垣間見ることができますね。

次回も引き続きオーストラリアの行事や食文化についてお届けします。

オーストラリア

Vol.2 サンタが海からやって来る



今回はオーストラリア 伊藤紀子さんの最終回です。
オーストラリアの行事や食事についてお話をうかがいました。

オーストラリアでのお誕生日のお祝いの仕方を教えてください。

友達やボーイフレンドなども家に連れてきて、みんなでお祝いすることが多いです。
プレゼントはどんなに小さなものでもその人の好きなものを用意して、必ずメッセージカードを添えていましたね。



クリスマスのお祝いの仕方はどうですか？

クリスマス休暇があるのですが、ケアンズの街は前後三日間位ほとんどの店は閉まっているか、早く終わってしまい、ほとんどの家はホームパーティーをしていました。

私もホームステイ先の家で参加しましたが、日本とは違い真夏のクリスマスなので、とても不思議な感じがしましたね。シドニーなどでは、海からサーフボードに乗ってサンタがやってきたりするそうですよ。



日本でもクリスマスのお祝いは定番になってきていますが、オーストラリアの方が家族で過ごす時間を大事にしているような気がします。位置付けとしては日本のお正月に近いのではないのでしょうか。

仕事とお祝い事、どちらを優先しているように感じましたか？

オーストラリアは日本のようにあまり残業はせず、きっちりプライベートとわけているので、お祝い事を大事にしているように感じましたね。

それでは、各行事での食事の定番はありましたか？

オーストラリアは多文化国家で移民が多く、それぞれが特有の文化を持っているので、食に関してもこれといった定番はあまりなかったですが、私が参加した行事では肉料理とケーキは必ずありましたね。
ケーキは日本のものに比べてボリュームがあって、すごく甘かったです。

普段の食事はどのようなものなのですか？

日本のように、四季に合わせた料理などはなかったです。味付けもラフな感じだった気がします。例えば、茹でただけの野菜が出てきて、テーブルの上にある調味料を使って自分の好みの味付けをして食べたりするんです。

よく食べたものはフィッシュ & チップスですね。これはイギリスの伝統的な料理です。
もともとオーストラリアはイギリス文化から大きな影響を受けているので、英国料理がベースになっていて、それが今でも受け継がれているようです。

変わっているものといえば、日本で卵のコーンバターやジャムなどを塗ることが多いですが、オーストラリアではベジマイトというものを塗ることが多かったですね。

ベジマイトというのは、野菜のペーストを発酵させたもので、独特な臭いがあるのでなかなか味に馴染めない人もいます。日本で言う納豆のような存在ですね。

オーストラリアは様々な文化が混在している国。

“定番”にこだわらず、それぞれが持つ文化を互いに認め合い共生しているため、1人1人違った生活スタイルが存在しているようです。

今回は、イギリスについてお伝えします。